

科目名	比較教育概論	
担当者	田口 康明 / TAGUCHI, Yasuaki	
科目情報	心理臨床<教育臨床> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	比較教育学は、日本とは異なる国や地域の教育制度や教育事情にふれることによって、その国や地域の理解に努めるとともに、翻って日本の教育に特質を明らかにするものである。そこでこの講義は、比較教育学と何かについて、諸外国の教育事情について紹介し、日本の教育との違いを検討する。
	到達目標	1) 比較教育学の歴史を理解する。近代の国民国家の成立との関連にいて把握する。2) 欧米など日本が模倣・吸収した国々の教育について理解する。3) 隣国であるアジア諸国の教育について理解する。4) 国際機関の教育政策について理解する。
授業計画	(1) ガイダンスーこの授業の目的・進め方等 (2) 比較教育学の歴史①ジュリアン等、19世紀の学説 (3) " ②シュリーバー等、20世紀の学説 (4) " ③エプスタイン等、現代の学説 (5) 欧米の教育とその受容① 明治期の受容 (6) " ② 大正期の受容 (7) " ③ 昭和期と戦後教育の受容 (8) " ④ 現代の受容 (9) 欧米の教育制度の特質 ①ドイツ・フランス (10) " ②イギリス・アメリカ (11) アジア諸国の教育 ①中国・韓国 (12) " ②タイ・マレーシア等 (13) 国際機関の教育政策 ①EU統合と教育 (14) " ②OECDの教育政策 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・授業において次回の使用プリントを配布する。それを前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業内容を800字程度でまとめておくこと。提出を求める場合がある。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に指定しない。講義中で配布するプリント（ハンドアウト）を用いる。 【参】授業において指示する	
成績評価方法と基準	小テスト（2回を予定）40%、最終テスト60%。	
備考	講義形式の授業であるが、時々、意見を求める。	